

Linuxディストリビューション 開発の近況

Open Developers Conference 2024
2024-09-07

Cross Distro Developers Camp

Cross Distro Developers Campとは

- webサイト <https://dictoss.github.io/xddc/>
- 略称は「XDDC」
- Linux/BSD等のOSSディストリビューションが横断して抱える諸問題を解決していこうとする団体
 - 各ディストリビューションの開発者やユーザーが参加
 - 主なテーマは日本語の文字入力/変換・画面表示・翻訳など
 - 様々なディストリビューションの人たちが集まり相互にアドバイスし合ったり、共同開発する
 - 上流の問題も多いため、解決すると相互にメリットあり

Cross Distro Developers Campとは

- 活動内容
 - 各人は自分が使うディストリビューションで活動
 - slackでコミュニケーションし、困った話題を共有
 - <https://floss-os-jp.slack.com>
 - 月1回「もくもく会」で集まり、相談や開発を行う
 - <https://xddc.connpass.com/>
 - 合宿もやっています
 - 2024年2月（箱根）、2019年11月（神奈川県真鶴町）、2019年6月（神奈川県三浦市）



本日のお題

- 各ディストリビューションの近況報告
 - Debian (杉本 典充)
 - Ubuntu (柴田 充也)
 - openSUSE (武山 文信)
 - AlmaLinux (吉田 俊輔)
- QandA

XDDCの開発に参加したい方へ

- slackで活動中です <https://floss-os-jp.slack.com>
- QRコードから参加リクエストをお願いいたします！



Linux ディストリビューション 開発の近況



Debian編

Open Developers Conference 2024
2024-09-07

Cross Distro Developers Camp

Debian JP Project 杉本典充 dictoss@debian.or.jp (rev.1)



Debian Projectとは

- <https://www.debian.org/>
- フリー/オープンでユニバーサルなオペレーティングシステム (OS)を開発しようとするプロジェクトであり、そのOSを開発するボランティアの人たちが活動するコミュニティ
- OSは、PC・サーバ・組み込み機器などの様々なハードウェアで動作可能
- 主に公式のDebian開発者 (Debian Developer) が活動して開発、メンテナンスを行っている
 - Debian開発者は56ヶ国に約1,000名以上 (日本在住の人は34人)
 - <https://people.debian.org/~eriberto/udd/dd-by-country.html>
 - この他にDebianメンテナ、パッケージメンテナ、翻訳、有志の方が開発に参加
- 成果物のOS「Debian」からは多くの派生OSが生まれている
 - Ubuntu、Raspberry Pi OS、Kali Linux



Debian Projectに関わる人たち

- Debian Projectに参加するのに資格は必要ありません
 - ただし、ルールを守る必要があります (P.7、P8を参照)
- Debianの開発やメンテナンスに関わる人たち
 - バグ報告、パッチの送付、wiki.debian.orgの追加・編集(情報の整備)
 - まずはこのあたりから始めるのがよい
 - Package Maintainer(パッケージのメンテナ。でもパッケージのアップロード権限はない)
 - Debian Maintainer(一部のパッケージのアップロード権限がある)
 - <https://wiki.debian.org/DebianMaintainer>
 - Debian Developer(すべてのパッケージのアップロード権限がある)
 - Debian開発者のコーナー <https://www.debian.org/devel/>
 - <https://wiki.debian.org/DebianDeveloper>
- Debianのドキュメントの翻訳や広報に関わる人たち
 - 日本での利用を便利にするために日本語に翻訳している人たちや宣伝をする人たち
- 活動に参加した人はwebサイトに名前が出ます <https://contributors.debian.org/>



Debianの最近の動向 (2024年)

- 安定版 Debian 12 bookworm のポイントリリース
 - 最新の安定版 12.7がリリース <https://www.debian.org/News/2024/20240831>
- 次期安定版 Debian 13のコードネームは trixie (トリクシー)
 - 2025年夏頃にリリースの見込み(フリーズは 2025年1～3月にかけて実施と思われる)
- CPUアーキテクチャの変更
 - [riscv64がunstableに入り、次のDebian 13で安定版としてリリースを目指す](#)
 - [mipsellはunstable/testingから削除された \(Debian 13ではリリースされない\)](#)
 - 32bit版(i386以外)ではtime_t型が64bit化し2038年問題に対応 (パッケージ名末尾に t64 が付与)
 - i386版が除外の理由は、歴史的にビルド済のバイナリが多く互換性を保つため
 - それ以外の32bit版では、time_t型のサイズ変更に合わせてプログラムの再ビルドが必要
 - [loong64を公式portsに入れてほしいと依頼あり](#)
- DebConf24 <https://debconf24.debconf.org/>
 - 韓国の釜山広域市にある Pukyong National Universityで開催
 - DebCamp 7/21～7/27、DebConf 7/28～8/4

日本におけるDebianの開発をしたい方への支援



- 東京エリアDebian勉強会 / 関西Debian勉強会
 - <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/>
 - <https://wiki.debian.org/KansaiDebianMeeting>
 - 合同で毎月1回オンラインにて開催中
- Debianの開発に関連した発表
 - autopkgtest について調べてみた
 - <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/2024-06.html>
 - Debianにおける 64bit time_t 移行について / BoF「xz-utilsのバックドア問題の情報交換」
 - <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/2024-04.html>
 - RAGとLLM そしてDebGPT
 - <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/2024-02.html>
- OSCなどへのイベント出展
 - Debian関連のよろず相談の最初の窓口



Debianの開発に関わっていくために 知っておくべき情報



Debianの開発に関わっていく準備

- 使っている、または興味のあるパッケージのバグ報告を見してみる
 - <https://www.debian.org/Bugs/> で検索できる
- メーリングリストを受信する
 - debian-news、debian-announce、debian-devel-announce、debian-devel(メール数多い)
- 日本にあるDebianのコミュニティに参加して少しずつ慣れていく
 - Debian JP Project(日本語名: Debian 開発者の会)
 - Debianを普及させることを目的とした任意団体
 - 日本人のDebian Developerの多くが加入している
 - 東京エリアDebian勉強会、関西Debian勉強会
 - 毎月1回勉強会を開催中。イベントへの出展も行っている
 - 日本語で投稿可能なメーリングリスト <https://www.debian.or.jp/community/ml/>
 - X(旧Twitter) @debianjp、@debian_jp (SNSの運用は今後変わるかもしれません)
- 協力者を得る
 - イベントへの参加、Debian勉強会の参加者たち、身近な知り合い、SNS



Debianの開発に参加する上で知っておく事項

- Debian salsa (gitlabサーバ) <https://salsa.debian.org>
- Debian 社会契約、Debian フリーソフトウェアガイドライン (DFSG)
 - https://www.debian.org/social_contract
 - 2022年10月1日に改定され Ver 1.2になりました (non-free-firmwareの件で改定)
- Debian 新規メンバーのコーナー <https://www.debian.org/devel/join/newmaint>
- Debian Policy <https://www.debian.org/doc/debian-policy/>
 - ディレクトリ構成、パッケージ構成などの Debian という OS の中身を定義した文書
- Debian デベロッパー レファレンス
 - <https://www.debian.org/doc/manuals/developers-reference/>
 - Debian の開発に関わる者が知っておくとよいベストプラクティス集
- Debian メンテナー用ガイド (Debian パッケージに関わる人は必読)
 - <https://www.debian.org/doc/manuals/debmake-doc/> (新しい記事。まだ英語が多い)
 - <https://www.debian.org/doc/manuals/maint-guide/> (旧版。日本語が多いが古め)
- Debian Project のチーム単位で定めた運営ルール

XDDC : Ubuntu の紹介

柴田充也

Ubuntu Japanese Team

2024 年 9 月 7 日

Ubuntu とは

- Debian ベースの Linux ディストリビューション
 - つまり Ubuntu は「**Debian の downstream**」である
- 主なターゲット：
 - デスクトップ (amd64/arm64/riscv64)
 - サーバー／クラウド (amd64/arm64/riscv64/ppc64el/s390x)
 - IoT (amd64/arm64/riscv64)
 - Windows/WSL (amd64)
- 開発の主体は **Ubuntu コミュニティ**
- **Canonical** はそれを**支援**し、商用サポートサービスを提供している

リリースはタイムベース

- **4月**と**10月**、半年に1度のタイムベースリリース
- バージョンは「西暦下二桁. リリース月」
- **24.04** は **2024年4月**に、**24.10** は **2024年10月**にリリース
- 通常リリースは**9ヶ月**のサポート期間
- 偶数年の4月は**長期サポート版 (LTS)** となり、**5年間**サポート
- 有償の **Ubuntu Pro** を利用すれば **10年間**に延長可能
- Ubuntu Pro には**最大5台**までの**無料枠**も存在する

最近は特別な理由がない限り「**LTSだけ使う**」のが一般的

今年は Ubuntu の登場から 20 周年！

- 最初のリリースは 2004 年 10 月の「**Ubuntu 4.10 Warty Warthog**」
 - コードネームは「イボだらけのイボイノシシ」みたいな名前

今年は Ubuntu の登場から 20 周年！

- 最初のリリースは 2004 年 10 月の「**Ubuntu 4.10 Warty Warthog**」
 - コードネームは「イボだらけのイボイノシシ」みたいな名前
- 主な機能
 - デスクトップ向けのみ
 - Debian installer のまま
 - Live CD とインストール CD は別
 - i386、amd64、PowerPC に対応

今年は Ubuntu の登場から 20 周年！

- 最初のリリースは 2004 年 10 月の「**Ubuntu 4.10 Warty Warthog**」
 - コードネームは「イボだらけのイボイノシシ」みたいな名前
- 主な機能
 - デスクトップ向けのみ
 - Debian installer のまま
 - Live CD とインストール CD は別
 - i386、amd64、PowerPC に対応
- 主なソフトウェア
 - Linux Kernel 2.6.8
 - GNOME 2.8
 - Firefox 0.9
 - OpenOffice.org 1.1.2

日本語コミュニティ

- ML : <https://lists.ubuntu.com/mailman/listinfo/ubuntu-jp>
- フォーラム : <https://forums.ubuntulinux.jp/>

続きは Web で !

- Ubuntu Weekly Topics :
<https://gihyo.jp/list/group/Ubuntu-Weekly-Topics>
- Ubuntu Weekly Recipe :
<https://gihyo.jp/list/group/Ubuntu-Weekly-Recipe>
- Ubuntu 日和 : <https://pc.watch.impress.co.jp/docs/column/ubuntu/>

openSUSEの近況

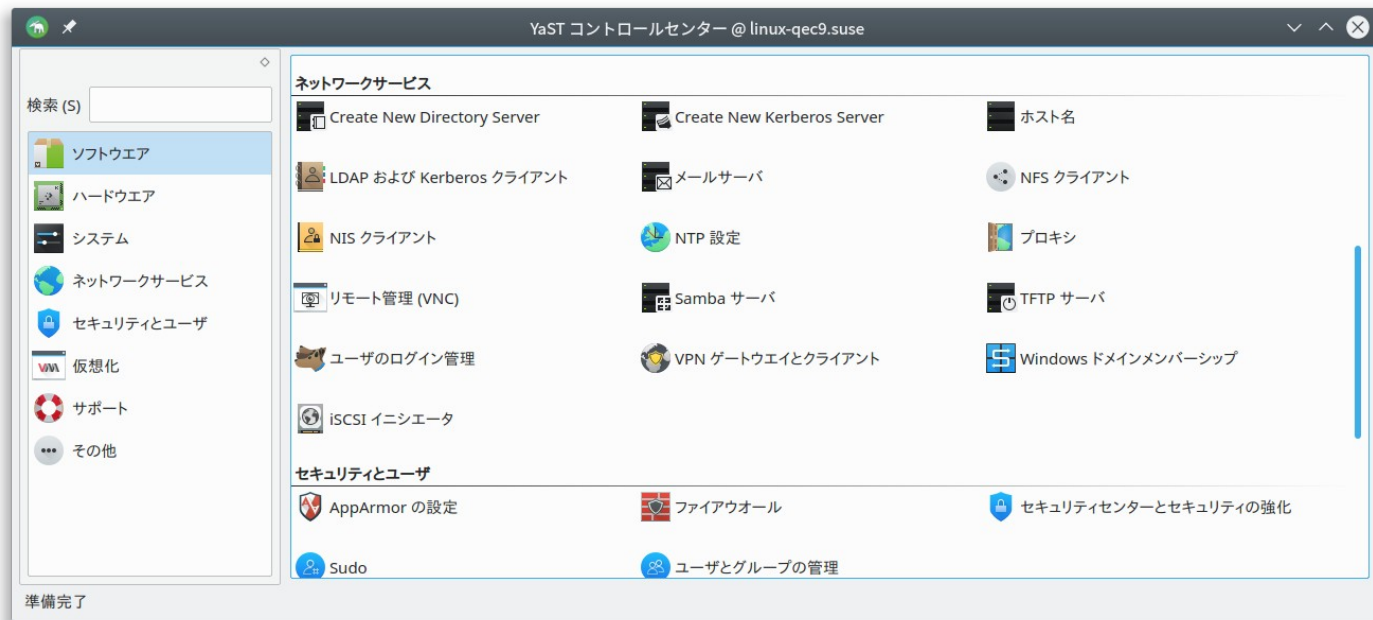
ODC 2024

武山 文信

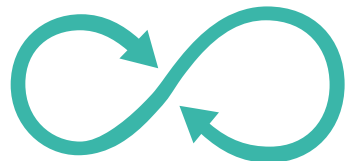


openSUSE といえば、管理ツール YaST

- ハードウェア設定、ユーザー管理、各種サーバー管理を GUI/TUI で
 - Samba, VNC, HTTP, NTP



2つの openSUSE



大量アップデートの頻度を
抑えた Slowroll も！



Tumbleweed

Leap

常に最新

安定

ローリング・リリース

年次アップデート

新しいカーネルやライブラリを使いたい人
アプリケーションのテスト環境

有償サポートなしで安定版を使いたい人
普段遣いのデスクトップやサーバーに

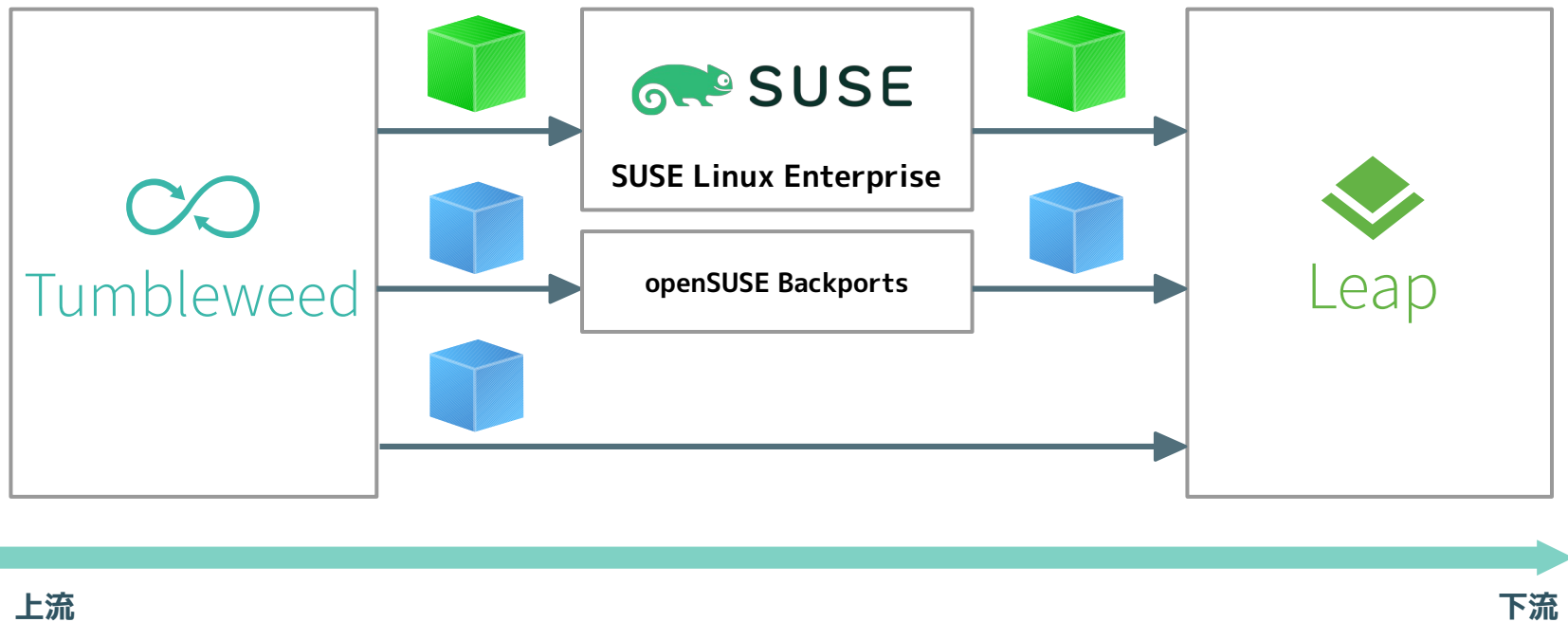


openSUSE Leap

- **SUSE Linux Enterprise (SLE) ベースのディストリビューション**
 - 基本的には SLE と**同一**のバイナリパッケージ
 - デスクトップにも使える
 - openSUSE 独自パッケージとして、デスクトップアプリを追加している
- **最新版: openSUSE Leap 15.6**
- **次の Leap は 16.0**



openSUSE と SLE の関係



Leap 16.0 の開発

- **SLE 16 にはデスクトップがない！**
 - openSUSE 独自部分の割合が大きい
 - デスクトップは好き放題できるはず
- **パッケージの更新、レビュー、組み合わせテスト**
 - パッケージの更新は Open Build Service で誰でも Pull Request で参加可能！
 - <https://build.opensuse.org/>
- **スナップショット版イメージは常に公開**
 - <https://download.opensuse.org/distribution/leap/16.0/>



openSUSE.Asia Summit 開催！



- 日時: 2024年11月2日、3日
- 会場: 株式会社SHIFT @麻布台ヒルズ
- 発表いろいろ
 - コンテナ/Kubernetes, カーネル
 - パッケージ開発, サプライチェーンセキュリティ, システムセキュリティ
 - Linux デスクトップ, グラフィックスアプリケーション
- **Cross-Distro Track:**
Debian, Ubuntu, AlmaLinux, Rocky の発表やブースも！
- <https://events.opensuse.org/conferences/oSAS24>

